

昨年創業70周年を迎えたケミクレア。長い歴史で培った合成技術を基盤に顧客ニーズに対応した数多くの高機能製品を開発、供給している。

同社は工業用殺菌剤などのバイオサイド事業と、医薬原体・中間体、電材向け化学品などのフラインケミカル事業を両輪に展開する。

フラインケミカル事業は電子材料関連の需要拡大に対応するため、小名浜工場（福島県いわき市）での生産に加え、外部提携先での生産も行っている。またメーカー機能を活かした品質保証やテクニカルサービスを付与した化学品のリセール、輸入販売の拡大も視野に入れている。

医薬品関連では医薬原体・中間体の自社および受託製造に加え、医薬品添加剤の製造も開始し、製造・品質管理ノウハウを着実に増やしている。

一方、バイオサイド事業は防腐剤・工業用殺菌剤が中心。イソチアゾリン系原体および臭素系原体を各種取り揃えており、水処理、化粧品、

半導体・電子材料用を強化

防腐剤・工業用殺菌剤も 幅広く用途展開

塗料向けなどの既存の使用用途に限定しない用途展開を進めている。

新開発したイソチアゾリン系殺菌剤「ZONEN-NX」は硝酸マグネシウムおよび溶剤フリーの環境特性に優れる工業用殺菌剤で、製造時に多大なエネルギーを要する硝酸マグネシウムを含まないことから温室効果ガス削減に貢献する。水質汚濁防止法に対応し、管理が容易なことも大きなメリットであり、採用が急速に増えている。国内販売が好調なことから、海外市場での販売も検討しており、既に市場調査を始めている。

同社は半導体・電子材料関連を成長領域と定めている。CMPスラリー用として工業用殺菌剤「ZONEN-MT」の低金属グレードを開発し、顧客への提案を始めている。これを一例として、受注拡大に向けICP/MS（誘導結合プラズマ質量分析法）装置などを新たに導入し、品質管理向上を進めている。